

金銭トラブル（貸金の返還を求める例）

（申立の趣旨） *申立用紙「申立の趣旨」の1番に記載し、①にチェックします。（「利息」と「遅延損害金」を請求したい場合は、分かりやすく書き足して下さい。）

1 相手方は申立人に対し、金100万円及びこれに対する年5パーセントの利息と遅延損害金を支払え。

【上記請求の理由は次のことがらです。】

①貸金

とのあっせんを求めます。

（申立の理由） *具体的に記載して下さい。

1 私（申立人）は、平成19年1月11日、●●さん（相手方）に、次の約束で、100万円を貸しました。

金額 100万円

弁済期 平成19年12月31日

利息 年5パーセント

損害金 年5パーセント

2 ですが、●●さんは、支払期限の平成19年12月31日が過ぎても、借りたお金を返してくれません。

3 そこで、私は、●●さんに電話で催促をし、平成20年2月頃には、●●さんの自宅へ行って、借金の返済を求めました。

そのとき、●●さんは、「遅くなって申し訳ない。」「春になったら、まとまった収入が入るので、それまで待つて欲しい」などと言いました。そこで、私は、●●さんを信用して、5月まで返済を猶予することにしました。

その際、念のため、●●さんと覚え書きを交わしています。

4 その後、約束の期限が過ぎたのですが、それにもかかわらず、●●さんは、現在まで、一向に貸したお金を返してくれる様子がありません。

5 そこで、●●さんには、なるべく早く、貸し付けた100万円と、それに対する利息及び遅延損害金を支払ってもらいたいと思っています。

（添付資料）

金銭消費貸借契約書、領収書、覚え書き